学部・学科の目的

【工学部工学科】

工学部工学科は、一般・専門基礎知識を広く修得して、建学の精神にもある「ものつくりとしての実行力」、「ものまねでない新技術の開発力」を獲得し、さらにコミュニケーション能力と国際性を身につけ、技術者としての倫理観を持った 21 世紀循環型社会の構築に貢献できる人材を育成する。

＜船舶工学コース＞

船舶工学コースでは、工学科が育成する人材の中でも、船舶工学の基礎知識を有し、船や海洋構造物を実際に設計・建造するための造船技術を身に付けた実務に強い技術者を養成する。船舶は物流の主役だけでなく、人の往来や営みの場である海洋の活用に不可欠であり、環境保全とエネルギーの観点から海洋に関する理解と活用が益々増大する状況において、以下の能力を有する人材を育成する。

・船舶工学及び造船技術を理解できる基礎学力と基礎知識
・造船及び海洋産業で必要となるコミュニケーション能力と人間力
・船舶工学と造船技術及び海洋関連技術の進歩に対応する積極性と探究心
・船舶工学と造船技術を通じて社会に貢献し、社会の安全・安心を考えることができる能力

＜機械工学コース＞

製造業を中心に国際基準レベルにあった設計能力をもち、現代社会に役立つものづくりに貢献できるための専門基礎知識の修得に加えて、以下の能力を持つ人材を育成する。

・論理的に考え明瞭かつ効果的に書く能力
・正確に説得力を持って意思伝達する能力
・多面的・客観的に考える能力
・倫理について理解し考察する能力
・情報に裏打ちされた判断する能力

＜建築学コース＞

建築の意匠・構造・設備の企画・設計・施工・運用に当たり必要な以下の能力を持つ人材を育成する。

・文化芸術を理解できる能力
・社会の仕組みを理解できる能力
・環境問題の基本を理解できる能力

・建築技術の進展に対応できる能力
・建築を設計できる能力
・建築分野の職能を理解できる能力

＜電気電子工学コース＞

電気電子工学コースは、電力、電気機器、パワーエレクトロニクス、情報通信、半導体・デバイス、電気・電子回路などの技術をとおして「産業」や「人の暮らし」を支えていく人材を育成する。工学科で１・２年次に基礎教育により基盤を固めたあと、本コースで電気工学・電子工学の基礎から応用まで専門教育を行い以下の能力を持つ人材を育成する。

・数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用できる能力
・専門分野の技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力
・種々の科学、技術及び情報を利用して問題を解決するためのデザイン能力
・自主的、継続的に学習できる能力
・与えられた制約のもとで計画的に仕事を進め、まとめる能力

＜医療工学コース＞

医療工学コースは、医学と工学の融合した学問分野であり、本コースでは特に臨床現場で活用・応用できる基礎教育を行っている。高度化した医療分野に対応できるよう、医学系では、医療従事者に必要な「医の心構え」にはじまり、人体の構造や機能の基礎医学、工学系では、医療機器の原理や特性を理解するうえで必要となる電気電子工学や機械工学などの幅広い知識や技術の専門教育を行い以下の能力を持つ人材を育成する。

・医療業務で必要となるチーム医療を理解できる能力
・医学専門分野として人体の構造と機能や、各疾患と治療を理解できる能力
・工学専門分野として工学技術に関する基本知識を理解できる能力
・医学の進歩と医療機器の進展に対応できる能力
・医療の安全を確保できる能力

【総合情報学部総合情報学科】

総合情報学部総合情報学科では、情報を取扱い、様々な分野に総合的に活用していくための知識と技術を修得し、これからの社会に貢献できる人材を育成する。すなわち、情報技術とそれが活用される様々な分野についての広範な知識と技術を有し､21 世紀循環型社会に求められる情報技術の活用技術の開発に寄与し、高い国際性・技術倫理・コミュニケーション能力・課題発見能力・課題解決能力を持つ人材を育成する。

＜知能情報コース＞

知能情報コースでは、学科が育成する人材の中でも、「人とコンピュータ」や「機械とコンピュータ」の連携に関心をもち、高度に発達した情報化社会に存在する様々な問題の発見と解決に、これらの知識と技術を活用することのできる以下のような人材を育成する。

・情報技術の基本原理および技術的要素の基礎を理解している。
・情報技術の基本的なツールを問題発見・解決に活用することができる。
・要求に応じてサービス/システムの企画・設計・制作・運用ができる。
・情報技術の利用を通じて、社会の安全・安心を考えることができる。

＜マネジメント工学コース＞

マネジメント工学コースは総合情報学科が育成する人材の中でも、企業や組織体の活動をマネジメントの視点から支援できる以下のような人材を育成する。

・企業や組織体の経営管理と経営戦略についての知識と技術を有する。
・企業や組織体における会計と財務管理についての知識と技術を有する。
・企業や組織体の活動やマネジメントに情報技術を活用できる。
・企業や組織体の活動やマネジメントにおける課題を発見し解決できる。

＜生命環境工学コース＞

生命環境工学コースは総合情報学科が育成する人材の中でも、環境保全や生物資源、エネルギーの有効利用に関心の深い以下のような人材を育成する。

・物質、生命、エネルギーとその活用についての知識を有する。
・知識と倫理に基づき、生物資源およびエネルギーの有効活用ができる。
・情報技術を用いて情報を収集・分析し、客観的に考察・表現できる。
・社会の一員として持続可能な社会に向けた提案ができる。